

医療情報①  
後藤茂之  
厚生労働相

## コロナ対策、 予備費から 1 兆 3500 億円

後藤茂之厚生労働相は、3月25日の閣議後の記者会見で、新型コロナウイルス対策予備費について、厚生労働省の所管で合計1兆3475億円の使用を閣議決定したと報告した。

具体的な内訳は、以下を措置したと述べた。

- ▼ファイザー社およびモデルナ社のワクチンを追加で確保するために必要な費用(6670億円)
- ▼治療薬の追加確保や治療薬の早期実用化に向けた治験に対する追加支援(4397億円)
- ▼抗原検査キットを確保するために必要な費用(929億円)
- ▼検疫体制の確保に必要な費用(1479億円)

また、新型コロナウイルス感染症の治療薬について、実用化に向けた緊急追加支援として、予備費から4397億円を充てることも明かした。

### ●塩野義の経口治療薬100万人分購入へ

後藤厚労相はまた、塩野義製薬の新型コロナウイルス感染症の経口治療薬「S-217622」の購入について、国と同社で同日、基本合意に至ったと述べた。薬事承認されれば、速やかに100万人分を供給、それ以降も一定数量を確保するというもの。国内企業が開発する経口治療薬では初の合意。同薬について後藤厚労相は「実用化されれば、軽症者に対する治療の選択肢がさらに広がる。今後、最終的な合意に向けて、流通などの詳細をさらに詰めていきたい」との考えを示した。

医療情報②  
厚生労働省  
発表

## 看護師国試の合格者発表、 合格率は 91.3%

厚生労働省は3月25日、第111回看護師国家試験の合格者を発表した。6万5684人の出願者のうち6万5025人が受験、合格者は5万9344人で、合格率は91.3%だった。

新卒者に限ると、5万9440人の出願者に対し5万9148人が受験、5万7057人が合格した。合格率は96.5%。合格基準は、必修問題および一般問題を1問1点、状況設定問題を1問2点とし、以下のいずれも満たすこととした。

- ▼必修問題で50点満点中40点以上（一部の問題に採点対象から除外された受験者は40点以上/49点、39点以上/48点）
- ▼一般問題と状況設定問題で250点満点中167点以上

## ●保健師、助産師の合格者も発表

厚生労働省はこの日、保健師、助産師の国家試験の合格者も発表した。

保健師国家試験は、出願者 8020 人のうち 7948 人が受験し、7094 人が合格した。合格率は 89.3%だった。このうち新卒者は 7525 人が出願し 7504 人が受験、6975 人が合格し、合格率は 93.0%だった。

助産師国家試験は、出願 2103 人のうち 2089 人が受験、2077 人が合格した。合格率は 99.4%。うち新卒者は、2092 人が出願し 2078 人が受験、2071 人が合格した、合格率は 99.7%。

医療情報③  
厚生労働省  
公表

# 看護師国試の出題基準改定

## ～出題基準の改定は、18年版以来5年ぶり

厚生労働省は3月28日、2023年版「保健師助産師看護師国家試験出題基準」をウェブサイト上で公表した。出題基準の改定は、18年版以来5年ぶり。

今回の改定は、昨年3月に取りまとめられた「医道審議会保健師助産師看護師分科会保健師助産師看護師国家試験制度改善検討部会報告書」で、出題基準について「看護基礎教育が修了した時点で備えているべき基本的な事項を問うために保健師助産師看護師のそれぞれの特徴を反映して出題されるよう、教育内容を踏まえ、改めて出題基準の体系や項目の見直しを行う」とされたことを受け、昨年8月から医道審議会保健師助産師看護師分科会のもとに保健師助産師看護師国家試験出題基準改定部会を設置し、ワーキンググループでの検討を含めて議論を重ね、改定された。改定の全体的な概要は以下の通り。

- ▼人口・疾病構造や社会背景などを踏まえつつ、近年の保健・医療・福祉の実情など看護を取り巻く状況の変化に伴い、より重要となる教育内容に関する項目の精選と充実を図った。
- ▼中項目が実際の「出題の範囲」であることから、具体的に示す内容や求める知識・能力が明確となるような表現の工夫を行った。また、出題基準は各学校養成所の教育で扱われるすべての内容を網羅するものではなく、これらの教育のあり方を拘束するものでもないこと、加えて、小項目は「中項目に関する内容を分かりやすくするために示したキーワード」であることから、個々の記載事項に番号を振らない形式へと変更するとともに、過度に限定的にならないよう内容の精査を行った。
- ▼看護基礎教育におけるカリキュラムの改正経緯を踏まえ、各職種に求められる実践能力と卒業時の到達目標との整合性について留意しながら見直しを行った。一方で、23年版の出題基準は、改正前のカリキュラムで学んだ受験者と改正後のカリキュラムで学んだ受験者が混在する時期に使用されることから、双方のカリキュラムで学び得る内容となるよう配慮した。

# 公立病院経営強化 GL を公表 ～2015年3月公表から7年ぶりの見直し

総務省は3月29日、「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン（GL）」を取りまとめ、地方自治体などに通知した。

「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化に関する検討会」の最終とりまとめを踏まえたもので、2015年3月に公表した「新公立病院改革 GL」から7年ぶりの見直し。GLは、以下の5部構成。

- ①公立病院経営強化の必要性
- ②地方公共団体における公立病院経営強化プランの策定
- ③都道府県の役割・責任の強化
- ④経営強化プランの策定・点検・評価・公表
- ⑤財政措置

まず①では、持続可能な経営を確保しきれない公立病院も多いのが実態としながら、「新型コロナウイルス対応に公立病院が中核的な役割を果たし、感染症拡大時の対応における公立病院の果たす役割の重要性が改めて認識され、病院間の役割分担の明確化・最適化や医師・看護師等の確保などの取り組みを平時から進めておく必要性が浮き彫りとなった」と指摘。加えて医師の時間外労働規制への対応も迫られるなど、厳しい状況が見込まれるとした。

そのうえで、「限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用するという視点を最も重視し、新興感染症の感染拡大時等の対応という視点も持って、公立病院の経営を強化していくことが重要」とまとめた。

「公立病院経営強化プラン」については、2022年度または23年度中に策定し、策定年度またはその次年度から27年度を標準的な期間とした。

プランの内容は、具体的な事項として、以下の6項目を挙げた。

- ▼役割・機能の最適化と連携の強化
- ▼医師・看護師等の確保と働き方改革
- ▼経営形態の見直し
- ▼新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取り組み
- ▼施設・設備の最適化
- ▼経営の効率化等

このうち「役割・機能の最適化と連携の強化」では、以下を掲げた。

- ▼地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- ▼地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
- ▼機能分化・連携強化

機能分化・連携強化に関しては、「各公立病院の役割・機能を明確化・最適化し、連携を強化。

特に、地域において中核的医療を行う基幹病院に急性期機能を集約して医師・看護師等を確保し、基幹病院以外の病院等は回復期機能・初期救急等を担うなど、双方の間の役割分担を明確化するとともに、連携を強化することが重要」としている。

また⑤では、「機能分化・連携強化に伴う施設整備等に係る病院事業債（特別分）や医師派遣に係る特別交付税措置を拡充」と示した。

医療情報⑤  
日本医療安全  
調査機構

## 医療事故の再発防止に向けた 提言 16号を公開

日本医療安全調査機構は3月28日、「医療事故の再発防止に向けた提言」第16号「頸部手術に起因した気道閉塞に係る死亡事例の分析」を公表した。

5年6カ月の間に医療事故調査・支援センターへ報告された死亡事例10例を対象に分析・検討を行い、7つの提言を行った。具体的提言は以下の通り。

▼【**気道閉塞の危険性を知る**】頸椎前方固定術、甲状腺切除術、頸部リンパ節郭清術などの頸部術後は、静脈還流障害に伴う喉頭粘膜浮腫により、窒息に至る危険性があることを認識する。特に、後出血が起こると窒息のリスクが高まる。

▼【**術後の呼吸の観察**】喉頭粘膜浮腫により気道狭窄が進行しても、急変直前までSpO<sub>2</sub>は低下しない。呼吸回数の増加と頸部聴診で喘鳴や狭窄音の有無を併せて観察する。

▼【**術後の症状と頸部の観察**】頸部術後は「頸部腫脹」の有無とともに、気道狭窄の徴候として「息苦しさ」「痰のからみ」「飲み込みにくさ」「創部痛の増強」などの訴えや「頻繁な体位変換」や「不穏状態ともとられる体動」などを観察する。

▼【**術後の報告基準の明示と対応**】医師は、頸部術後の気道狭窄の徴候について、観察項目と報告基準を明確に指示する。医療機関は、頸部術後を担う医療チームが気道狭窄の徴候に迅速な対応ができる体制を作る。

▼【**開創の判断と対応**】頸部術後に頸部の腫脹や頸部周囲径の増大を認め、血腫による気道狭窄を疑う場合には、即開創し、血腫除去術を実施する。呼吸状態が改善しない場合に備え、同時に外科的気道確保の準備を進める。

▼【**緊急外科的気道確保の実施**】頸部術後に気道狭窄が進行している場合には、気管挿管が困難であることが多い。気管挿管が困難な場合は、ためらわず外科的気道確保を実施する。

▼【**緊急外科的気道確保の体制の整備**】頸部手術を行う医療機関は、緊急外科的気道確保が可能な体制を整備する。

医療情報⑥  
日本医療機能  
評価機構

## 産科補償制度で「再発防止」報告書 ～3月25日、同機構のウェブサイト上に公表

日本医療機能評価機構（河北博文理事長）は3月25日、「第12回産科医療補償制度再発防止に関する報告書—産科医療の質の向上に向けて」を、同機構のウェブサイト上に公表した。

同報告書は年に1回、3月に発行している。12回の分析対象事例は、2020年12月末までに原因分析報告書を送付した2792件。

今回は、「新生児蘇生について」と「子宮内感染について」の2つの「テーマに沿った分析」を行っている。章建ては、以下の4章構成。

- ▼第1章：産科医療補償制度
- ▼第2章：再発防止
- ▼第3章：テーマに沿った分析
- ▼第4章：産科医療の質の向上への取り組みの動向

同報告書は、同機構のウェブサイト※からダウンロード可能。

※<http://www.sanka-hp.jcghc.or.jp/documents/prevention/report/index.html>

医療情報⑦  
厚生労働省  
事務連絡

## 国際線の機内濃厚接触者 「同行家族のみ」に

厚生労働省は3月29日付で、「国際線航空機内における機内濃厚接触者の情報提供等について」の一部改正を、都道府県等に宛てて事務連絡した。機内濃厚接触者の取扱いについて、これまで、空港検疫における新型コロナウイルス検査陽性者と同一の航空機内において、検査陽性者の搭乗していた座席の前後2列を含む5列以内の座席に搭乗していた者並びに検査陽性者の家族および同行者を「機内濃厚接触者」としていた。

今後、オミクロン株の国内外の感染状況を前提とした対応とすることとし、検査陽性者の同行家族のみ「機内濃厚接触者」として取り扱うことを示した。3月30日午前零時（日本時間）から適用し、既に入国済の者で機内濃厚接触者として特定されている者も同時刻から適用する。

医療情報⑧  
厚生労働省  
発表

## 「人生会議」普及啓発動画を公開 ～3月30日、ウェブ上に動画を3本公開

厚生労働省は3月30日、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、愛称：人生会議）の普及・啓発のための動画をウェブ上に公開したと発表した。「人生会議」について、より多くの方に知っていただくためとしている。

動画は、「人生会議について考えるきっかけをつくるために」。在宅医療に従事する高山義浩医師と紅谷浩之医師が経験したさまざまな実話をもとに3つの再現VTRを作成。タレントの川島明さん（麒麟）をMCに、勝野洋さん・キャシー中島さん夫妻をゲストに、両医師とともに再現VTRを見たうえで、「人生会議」について意見交換を行っている。

動画は3本で、視聴URLは以下の通り。

▼Vol.1 : <https://www.youtube.com/watch?v=b7rziMgFdTU>

▼Vol.2 : [https://www.youtube.com/watch?v=aV5\\_i83czwA](https://www.youtube.com/watch?v=aV5_i83czwA)

▼Vol.3 : <https://www.youtube.com/watch?v=y9WHRhZs4Tc>

医療情報⑨  
厚生労働省  
事務連絡

## 職域追加接種での 完了登録など保留を

厚生労働省は3月29日付で、「新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）に係る完了登録等に向けた作業の保留について」を、都道府県と市区町村に宛てて事務連絡した。

新型コロナワクチン追加接種（3回目）の完了登録等の取り扱いについて、職域における4回目接種を実施することとなった場合を想定し、職域追加接種（3回目接種）において接種完了時に使い切れない量の新型コロナワクチンの取り扱いや3月29日以降に運用予定のV-SYS（ワクチン接種円滑化システム）上の完了登録の方法については「改めて整理し、追ってお知らせする」などとしている。

医療情報⑩  
政府  
公表

## コロナワクチン、3回接種 完了は5124万人、40.5%

政府が公表した新型コロナウイルスワクチンの接種実績によると、3月29日の一般接種は、1回目が1万5255回、2回目が7988回の、合わせて2万3243回だった。また、同日の追加接種（3回目）は、ファイザー社が22万4521回、武田/モデルナ社が14万6419回の、合わせて37万940回だった。

3月29日までの総接種回数は2億5434万5587回で、このうち高齢者は9535万2477回、職域接種が2138万7414回、小児接種が44万252回だった。全体では1回以上接種者が1億246万7506人で接種率は80.9%。このうち高齢者は3318万6098人で接種率は92.8%。

2回接種完了者は、全体では1億63万3737人で接種率79.5%、うち高齢者は3307

万 7670 人で、接種率は 92.5%。

また、3 回接種完了者は、全体では 5124 万 4344 人で、接種率は 40.5%。このうち高齢者は 2908 万 8709 人で接種率は 81.3%だった。接種率は 31.0%。このうち高齢者は 2552 万 3621 人で接種率は 71.4%だった。

医療情報⑪  
3 月 30 日  
現在

## 国内の重症患者は引き続き 漸減傾向、655 人に

厚生労働省のまとめによると、日本国内の新型コロナウイルスへの感染状況は、3 月 30 日 零時時点で、前日より 4 万 4466 人増えて、合わせて 645 万 2108 人となった。

このうち、チャーター便による帰国者が 15 人、空港等検疫が 1 万 3801 人、国内事例が 643 万 8292 人。国内の死者は、前日から 82 人増えて 2 万 7913 人となった。

すでに退院等している人は、前日より 4 万 292 人増えて 600 万 8253 人となった。入院治療を要する 40 万 1886 人のうち、人工呼吸器装着または集中治療室に入室している重症者は、前日から 18 人減って 655 人だった。

3 月 28 日までの国内（国立感染症研究所、検疫所、地方衛生研究所・保健所等）の PCR 検査の実施件数は 6058 万 6752 件だった。

3 月 30 日零時時点で都道府県別の陽性者数は、東京都が 123 万 3139 人（死亡 4146 人）で最も多く、次いで大阪府の 78 万 6559 人（死亡 4620 人）、神奈川県 of 59 万 3717 人（死亡 2006 人）、埼玉県の 42 万 158 人（死亡 1369 人）、愛知県の 40 万 4270 人（死亡 1953 人）などとなっている。

### ●米国の陽性者、8000 万人を超える

厚労省のまとめ(図表)によると、3 月 30 日 15 時時点の世界の新型コロナウイルスへの感染状況について、米国では陽性者が 8000 万人を超えて 8001 万人あまりに達した。死者数は約 97 万 9000 人となった。

インドでは、陽性者が約 4302 万人で、死亡者は約 52 万 1000 人。ブラジルでは陽性者数が約 2988 万人で、死者は約 66 万人だった。

このほか陽性者が 1000 万人を超えているのは、フランス、英国、ドイツ、ロシア、トルコ、イタリア、韓国、スペインの、合わせて 11 の国と地域、100 万人を超えているのは、合わせて 58 の国と地域。感染者が 10 万人を超えているのは 124 の国と地域。

ヨーロッパでは、フランスで陽性者が約 2546 万人で死者が約 14 万 3000 人。英国では陽性者が約 2115 万人、死者が約 16 万 6000 人に達した。

ドイツでは陽性者が約 2087 万人で死者は約 12 万 9000 人。ロシアでは約 1754 万人が陽性。イタリアでは約 1450 万人、スペインで約 1151 万人、オランダで約 798 万人の

陽性が確認されている。

中南米では、ブラジルのほか、アルゼンチンで約 903 万人、コロンビアで約 608 万人、メキシコで約 565 万人、ペルーで約 355 万人の陽性が確認されている。

アジアでは、インドのほか韓国で陽性者が約 1277 万人となったほか、ベトナムで約 939 万人、インドネシアで約 601 万人、マレーシアで約 417 万人、フィリピンで約 368 万人となった。

中東地域では、イランで感染者が約 716 万人、イラクでも約 232 万人となっている。

アフリカ諸国では、南アフリカで陽性者が約 372 万人、モロッコで約 116 万人、チュニジアで約 104 万人などとなっている。

### (図表) 国別の感染者・死亡者の状況

国・地域	感染者	死亡者	国・地域	感染者	死亡者
米国	80,019,128	978,648	オーストリア	3,770,412	15,764
インド	43,023,215	521,101	南アフリカ	3,715,390	99,976
ブラジル	29,887,191	659,508	フィリピン	3,677,616	59,038
フランス	25,464,389	143,019	タイ	3,600,787	25,045
英国	21,145,773	165,569	ペルー	3,545,628	212,157
ドイツ	20,867,314	129,123	ポルトガル	3,534,003	21,545
ロシア	17,544,419	360,674	カナダ	3,470,143	37,542
トルコ	14,831,231	97,924	スイス	3,468,289	13,534
イタリア	14,496,579	159,054	チリ	3,458,499	56,464
韓国	12,774,956	15,855	デンマーク	3,097,060	5,634
スペイン	11,508,309	102,218	ギリシア	2,986,882	27,392
ベトナム	9,386,489	42,413	ルーマニア	2,847,015	64,958
アルゼンチン	9,032,162	127,970	スウェーデン	2,481,736	18,189
オランダ	7,982,514	22,541	スロバキア	2,426,662	19,311
イラン	7,156,746	140,109	イラク	2,318,865	25,160
コロンビア	6,084,240	139,595	セルビア	1,972,760	15,779
インドネシア	6,005,646	154,882	バングラデシュ	1,951,432	29,120
ポーランド	5,952,200	114,939	ハンガリー	1,846,311	45,390
メキシコ	5,651,553	322,761	ヨルダン	1,692,485	14,031
ウクライナ	5,040,518	112,459	ジョージア	1,647,243	16,730
豪州	4,447,442	5,959	パキスタン	1,524,549	30,349
マレーシア	4,167,418	34,906	アイルランド	1,448,812	6,730
イスラエル	3,894,134	10,485	ノルウェー	1,402,219	2,339
チェコ	3,808,101	39,640	カザフスタン	1,393,689	19,011
ベルギー	3,807,447	30,747	モロッコ	1,163,109	16,059